

令和6年度 佐伯市立鶴谷中学校校内研修について

1. 学校教育目標

「オーガニックシティさいき」の未来を担う生きる力と優しさに溢れた生徒の育成

2. 研修テーマ、目的、内容について

研修テーマ

「わかる、できる」を実感し、「相手に伝わるように表現する」生徒の育成

目的

各教科6つの視点にもとづいた略案審議、提案授業、授業研究、全体還元を行うことを通して、新たな気づきを得て、今後の授業改善にいかす。

- 単元計画にもとづいた「めあて」「振り返り」を設定した授業
- 毎時間、付けたい資質・能力、評価規準を明確にした授業
- 単元に1回以上「情報の取り出し」を意識した授業
- 各単元に1回以上「生徒指導の3機能」を意識した問題解決的な展開する授業
- 必然性をもったペア・グループ活動を実施
- 生徒全員が1回はペア・グループ、全体場で意見を発表する授業

→「授業がよくわかる」と肯定的に回答する生徒70%以上

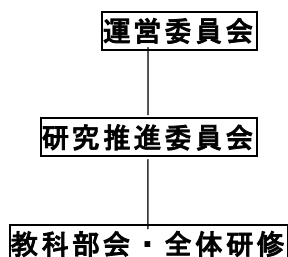
→自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した、と肯定的に回答する生徒70%以上

研修内容

- ①研究推進委員会で研究の内容について確認を行い、推進委員を中心に教科部会を行い、教科指導力の向上につなげる。
- ②各部会で、各学期に互見授業を行う。授業の前週に略案審議、互見授業後に授業研究を行う。互見授業日は月、火、水曜日に割り振りして実施する。部会のメンバーは授業観察を行う（日課表調整）
- ③水曜日の校内研修で、教科部会→全体で授業研究会を行う。
指導主事を招聘し、専門的な知見から意見をいただく。

(3) 組織および部会

① 組織



② 研究推進委員

各教科主任 7 名（音・美・技・家については 1 名）、研究主任で構成

③ 教科部会

教科で構成し、全部で 7 部会

国語（4）社会（4）数学（5）理科（4）音、美、技・家（4）保体（4）英語（6）

3. 年間計画、授業研究について

(1) 年間計画

月	全体	研修部	教科部会
4	全体研修 今年度の研修について 人間関係プログラム(4/24)		教科部会 研修内容確認、授業者決定
5			
6	研究授業（互見授業）①	授業研究→全体還元	教科部会 授業研究
7			
8			
9	研究授業（互見授業）②	授業研究→全体還元	教科部会 授業研究
10			
11			
12			
1	研究授業（互見授業）③	授業研究→全体還元	教科部会 授業研究
2			
3	年間研修のまとめ		

(2) 授業研究

- ・ 授業研究は、各教科部会でのグループ討議。
- ・ 授業者は、討議の内容と自分の授業評価を比較して、意見感想を述べる。
- ・ 授業研究後、教科主任は教科部会のまとめを作成→全体連絡会で共有
- ・ 研修主任は校内研修まとめを作成→全体連絡会で共有